



文部科学省 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」採択事業

「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」プロジェクト

**参加費
無料**

シンポジウム

大学教育と地域活性化のコラボレーション

～東日本に咲いた多様な「大地連携ワークショップ」の花～

日時 平成27年 **1月24日(土)**
13:00～17:00

場所 山形大学小白川キャンパス
基盤教育1号館 2階

第1部 基調講演 13:10～13:40

- 「2014年“つばさ”プロジェクトの活動」 “つばさ”プロジェクト運営協議会 委員長
(山形大学 教育開発連携支援センター 教授) 小田 隆治

第2部 大学間と地域間の連携による「大地連携ワークショップ」 13:40～15:20

- 北海道 沙流郡 平取町「平取町でのWSを終えて」 札幌大学 地域共創学群 准教授 堀江 育也
- 北海道 釧路市 阿寒町「阿寒の森に魅せられた学生と大人」 北翔大学 教育文化学部 芸術学科 准教授
FD支援委員会委員長 松澤 衛
- 神奈川県 川崎市「大地連携ワークショップ・かわさきWSの成果と課題～都市の多様性を探る体験学習は成功したか?～」
日本女子大学人間社会学部 准教授 久東 光代 助教 星名 由美 学生サポーター
- 神奈川県 相模原市「大地連携ワークショップから得た宝物」 東京家政学院大学 教育研究支援グループ課長 鶴田 智也
- 山形県 最上郡 戸沢村「地域にそそぐエネルギー『大地連携ワークショップ』」 北の妙創郷大学 事務局長 佐藤 雄次

第3部 グループディスカッション 15:30～17:00

多様な大学と地域連携のあり方を少人数のグループに分かれて話し合います。

連携校・連携機関

北海道／【連携校】札幌大学、北翔大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部 【連携機関】北海道教育委員会、釧路市、平取町、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
東北／【連携校】山形大学、会津大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学
【連携機関】新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
関東／【連携校】明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学 【連携機関】川崎市、相模原市

「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」プロジェクト シンポジウム

大学教育と地域活性化のコラボレーション

～東日本に咲いた多様な「大地連携ワークショップ」の花～

日時

平成27年1月24日(土) 13:00～17:00

場所

山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館 2階

【趣 旨】

“つばさ”プロジェクト 運営協議会委員長 小田 隆治

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、「FDネットワーク“つばさ”」の取組「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」(通称、“つばさ”プロジェクト)が採択されました。本取組は、北海道・東北・関東の19の大学等と14の自治体等が参加する巨大なプロジェクトです。

本プロジェクトは、学生の自己学習力と社会人基礎力の育成を目的とし、大学間連携FD/SD/IRIによって教育改善を進め、学生主体型授業(アクティブ・ラーニング)やフィールドワークを地域の人たちと一緒に推進していく取組です。

本プロジェクトも3年目に入りましたが、当初計画した事業を着実に遂行しております。そのなかでも、この夏に大学教育と地域活性化の相乗効果を目的とした現地体験宿泊型学習の「大地連携ワークショップ」を、北海道(釧路市阿寒湖・平取町)、山形県(戸沢村)、神奈川県(川崎市、相模原市)の5か所で実施することができました。

本シンポジウムでは、今年度の「大地連携ワークショップ」の活動内容を報告し、大学教育と地域活性化、そして大学間連携のあり方について話を深めていきたいと考えています。

本シンポジウムは、第一部の基調講演で今年度の“つばさ”プロジェクトの活動の概要をお話しします。第二部のパネルディスカッションでは、5つの「大地連携ワークショップ」をデザインし実施した、札幌大学、北翔大学、日本女子大学、東京家政学院大学、山形大学、そして各地域の担当者から話題提供をいただきます。第三部のグループディスカッションでは、参加者が少人数のグループとなって話題提供者を交え、それぞれの大学の現状とこれからの課題、発展について具体的に話を深めていきたいと思っています。このように参加型のシンポジウムとなっています。

大学教育と地域活性化のコラボレーションは現代的な課題です。本シンポジウムの特色は、この夏に「大地連携ワークショップ」を初めて担当された担当者と自治体の方の生の意見を聞けるところにあります。我々のプロジェクトは、地域の方々が単なるステークホルダーではなく、一緒にプロジェクトを遂行する当事者になってくださっているところにあるのです。

大学間連携・大地連携・現地体験型学習・サービスラーニング・地域活性化等にご興味のあるみなさまのご参加をお待ちしております。

全体司会/山形大学 理学部 教授 栗山 恭直

開会の挨拶

13:00～13:10

山形大学長 小山 清人

第1部 基調講演

13:10～13:40

「2014年“つばさ”プロジェクトの活動」

“つばさ”プロジェクト運営協議会 委員長(山形大学 教育開発連携支援センター 教授) 小田 隆治

第2部 大学間と地域間の連携による「大地連携ワークショップ」

13:40～15:20

司会/山形大学 教育開発連携支援センター 講師 橋爪 孝夫

【話題提供】

●北海道 沙流郡 平取町「平取町でのWSを終えて」

札幌大学 地域共創学群 准教授 堀江 育也

●北海道 釧路市 阿寒町「阿寒の森に魅せられた学生と大人」

北翔大学 教育文化学部 芸術学科 准教授 FD支援委員会委員長 松澤 衛

●神奈川県 川崎市

「大地連携ワークショップ・かわさきWSの成果と課題 ～都市の多様性を探る体験学習は成功したか?～」

日本女子大学人間社会学部 准教授 久東 光代 助教 星名 由美 学生サポーター

●神奈川県 相模原市「大地連携ワークショップから得た宝物」

東京家政学院大学 教育研究支援グループ課長 鶴田 智也

●山形県 最上郡 戸沢村

「地域にそそぐエネルギー『大地連携ワークショップ』」

北の妙創郷大学 事務局長 佐藤 雄次

第3部 グループディスカッション

15:30～17:00

司会/山形大学 教育開発連携支援センター 講師 橋爪 孝夫

多様な大学と地域連携のあり方を少人数のグループに分かれて話し合います。

閉会

17:00

情報交換会(4,000円)

17:30～19:30

<参加申込み方法>

申込み期限/平成27年1月19日(月)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mailアドレス、情報交換会(会費4,000円)への参加の有無を明記し、下記のいずれかの方法でお申込みください。



023-628-4720



k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

別紙

“つばさ”プロジェクト シンポジウム
大学教育と地域活性化のコラボレーション
—東日本に咲いた多様な「大地連携ワークショップ」の花—

申 込 票

申込日： 月 日

機 関 名 ：			
所 属	職 名	氏 名	情報交換会
			出 ・ 欠
			出 ・ 欠
			出 ・ 欠
			出 ・ 欠
			出 ・ 欠

※ 電子メールまたはF A Xで送付願います。

※ 電子メールの場合は本申込票を添付いただくか、メール本文に必要事項をご記入ください。

本件ご担当者連絡先

氏 名： _____

所属・職名： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____

